

# 英語 ガイダンス

# 学修案内 (p. 22)

## 履修基準表

接続領域：外国語コミュニケーション科目  
(1セメスターから履修：必修4単位)

英語 A (月2 前期 + 後期)  
各1単位：合計2単位

英語 A (金1 前期 + 後期)  
各1単位：合計2単位

1つの授業につき半期で1単位

# 学修案内 (p. 22)

## 履修基準表

教養領域：外国語科目 (**必修4単位**)

英語 B ・ B

応用英語

英語以外の外国語基礎

英語以外の外国語基礎 (特設) ・

英語以外の外国語応用 ・

「英語」を履修する場合、

「英語 B ・ B 」 (**3セメスター**から履修)

「応用英語」 (**1セメスター**から履修)



# 学修案内 (p. 43)

## < 英語 A ・ 英語 A について >

英語 A (月2 前期 + 後期)

→ **総合的な英語力**の養成を目的

英語 A (金1 前期 + 後期)

→ **技能別に英語力**を養成することを目的

- ・ Reading ( R )
- ・ Writing ( W )
- ・ Oral Communication ( O )

# 学修案内 (p. 43)

< 英語 A ・ 英語 A について >

**新型コロナウイルス感染症に伴う変更**

Oral Communication ( O ) がなくなります

- ・ Reading ( R )
- ・ Writing ( W )
- ・ 総合英語

24日発表の授業形態一覧表で確認



# 学修案内 (pp. 43-44)

< 英語A ・ 英語A の履修について >

所属クラスは**希望調査に基づいて決定**

→ **シラバスを読んで**希望するクラスを決める

→ 原則として**前期と後期は同じクラス**に所属  
単位認定は半期ごとに行われます

後期から「基礎」「上級」クラスが開講

→ 受講希望者は9月に**教務課で手続き**

→ 受講が認められれば後期からクラス移動

# 学修案内 (pp. 43-44)

< 英語A ・ 英語A の履修について >

「基礎」「上級」クラスの成績

「基礎」

→成績はB, C, Fのいずれか

「上級」

→成績はS, A, Fのいずれか

シラバスを確認してから受講希望を出すこと



# 学修案内 (pp. 43-44)

< 英語A ・ 英語A の履修について >

## 新型コロナウイルス感染症に伴う変更

所属クラスの決定方法が変更になります

例年：第1回目の授業で決定(学修案内記載)

今年：ライブキャンパスのアンケートに回答

期限までにアンケートに回答しない場合、  
クラスを希望することができません



# 学修案内 (pp. 43-44)

< 英語A ・ 英語A の履修について >

## 新型コロナウイルス感染症に伴う変更

4月21 ~ 27日: アンケート回答期間

4月28日: クラス分け発表

4月28 ~ 30日: 英語科目の履修登録

→ 所属クラスを確認して履修登録して下さい

誤ったクラスに履修登録したままだと  
単位認定されない可能性があります

# 学修案内 (pp. 43-44)

< 英語A ・ 英語A の履修について >

シラバスの検索方法

科目名: 英語A      Aは半角入力

フリーワード: 月2 or 金1      前期

タイトル	▼選択してください ▼	*リストから指定してください
フォルダ	▼選択してください ▼ <input type="checkbox"/> サブフォルダを含む	*リストから指定してください
科目名	英語A	*中間一致検索
担当教員名		*中間一致検索
フリーワード	月2 前期	*検索語をスペースで区切って指定してください(3つまで)



# 学修案内 (pp. 43-44)

## < 英語 A ・ 英語 A の履修について >

科目名	英語A I		
担当教員	高木 修一		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	72 1年生向_総合
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	火4	単位区分	必修,選択自由
授業形態	通常講義	単位数	1
備考			
特修プログラム		ナンバリング	g13a0010
教育目標との関係 (DPポイント配分)	基盤教育 基盤教育	最新の専門知識及び技術	50 %
		本質を見極めるための教養と学際性	20 %
		協働的な問題探究	10 %
		社会の改善につなげる創造性	10 %
		市民としての主体的態度	10 %
授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> 発表 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> ICT機器の活用		
授業概要とねらい	<p>[授業概要] 本授業は4技能総合の授業です。易しい英文の聴解および読解を通じて、基本的な文法・語彙の定着を図ります。また、英文の内容について英語でのスピーチや簡単なやりとり、そして英文の要約活動といった産出活動を行います。</p> <p>[授業のねらい] 英語の受容技能および産出技能を用いた様々な活動を通じて、英語の総合的なブラッシュアップを図ります。</p>		
単位認定基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 短い物語を含め、職場、学校、余暇などの場面に関するごく身近な事柄について、標準語で明確に話された内容の要点を理解できる。</li> <li>2. 自分の専門分野や興味に関する簡潔な事実に関するテキストについて、十分に主題を理解できる。</li> <li>3. 聞き手が忍耐強く聞いてくれれば、簡易な表現で自分の意見を述べることができる。</li> <li>4. 自分の専門分野に関する日常的または非日常的な事実情報について、ある程度の自信を持って要約、報告または自分の意見を提示することができる。</li> </ol>		
授業計画	<p>4技能を用いた活動をトピックごとに行っていきます(トピックは教科書より抜粋)。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業概要の説明</li> <li>(2) Unit 1 : Everything's Ducky</li> <li>(3) Unit 2 : A Dearth of Cherry trees</li> <li>(4) Unit 3 : One Hundred Billion Servings</li> <li>(5) Unit 4 : A Stellar Superstar</li> <li>(6) Unit 5 : Finnish Fathers Finish First</li> <li>(7) Unit 6 : Switch Off, Look Up, Watch Out!</li> <li>(8) Unit 7 : Disappearing Beaches</li> <li>(9) Unit 8 : An Alarming Allergy</li> <li>(10) Unit 9 : Three Cheers for the Girls</li> <li>(11) Unit 10 : A British Motto Up for Grabs?</li> <li>(12) Unit 11 : Portland Rose Festival</li> <li>(13) Unit 12 : Cats Or Kiwis?</li> </ol>		

# 学修案内 (p. 46)

## < 応用英語の履修について >

応用英語： ~

(月5・火5・水1・木5・金5)

- ローマ数字が異なる場合は別の科目扱い
- 半期ごと履修が可能
- 修得した単位は教養領域の科目に計上



# 学修案内 (p. 46)

## < 応用英語の履修について >

応用英語の内容:

留学試験、検定試験、大学院受験などの  
**各種試験対策**、および英語による講義、  
英語によるレポート作成など**留学準備**

→ 英語力に**磨きをかけたい人向け**  
教養領域の単位修得だけが目的であれば、  
英語 B ・ B を履修して下さい